

広報



Public Library Wakasa

今年も「元気」を目標に!!

(新春書き初め大会 西田公民館)



2

2013
No. 94

あなたも 税の申告が 必要です

ご存じのとおり2月18日から3月15日までは、確定申告の受付期間です。

しかし、皆さんの中には、「わたしは所得は無いから申告しなくてもよい」と思っている方はいませんか。

確定申告をして納める税金は、「所得税」と「住民税」の2種類があり、いくら所得が無くても、申告をしていないと場合によっては、あなたが納めるべき税金が正しく計算されないこともあります。

今回、確定申告について紹介させていただきますので、今一度、あなたが申告をしなくてもよいか確認してみてください。



所得税と住民税の違い

所得税は、国に納める税金のひとつで、個人や法人の収入や所得に応じて課税される税金です。所得税などの国税は、社会保障関係や公共事業関係、防衛関係に使われるほか、すべての地方自治体が一定の水準を維持できるようにする地方交付税交付金などに使われています。

一方、住民税は市町村民税や都道府県民税と呼ばれる税金で、所得税同様に収入や所得に応じて課税され、各地方自治体のゴミ収集処理や防犯活動、消防・救急活動などの公共事業関係、また学校教育関係などに使われています。

住民税は、所得税と違いその年に課税されるのではなく、前年の収入や所得に基づいて計算し、1年遅れて課税されます。

なぜ住民税申告をしなければいけないの

申告した収入や所得、扶養関係などの情報は、住民税の課税の算定だけに使われるだけではなく、その情報は国民健康保険税にも直結しています。また、住民税申告をしていないと、国民健康保険税や保育料の軽減措置が受けられなくなるほか、児童生徒の学校給食費などを支援する準要保護児童生徒援助費の対象から外れてしまうなど、不利益を被る場合もあります。

世帯全員の収入や所得に合った税金や料金を適正に算定するためには、所得が無い方でも住民税申告が必要なのです。

なお、所得税申告をされた方は、住民税申告をする必要はありません。

世帯に一人でも未申告の人がいると国民健康保険税などの軽減措置が適用されません。

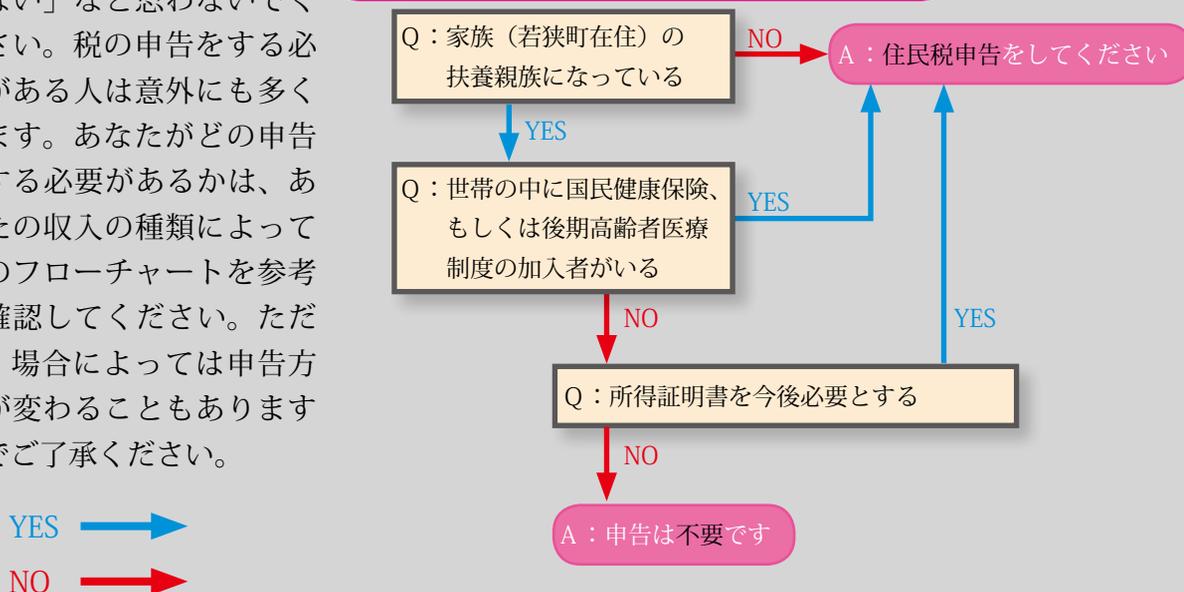


住民税担当
山形 真大 主事
(税務住民課)

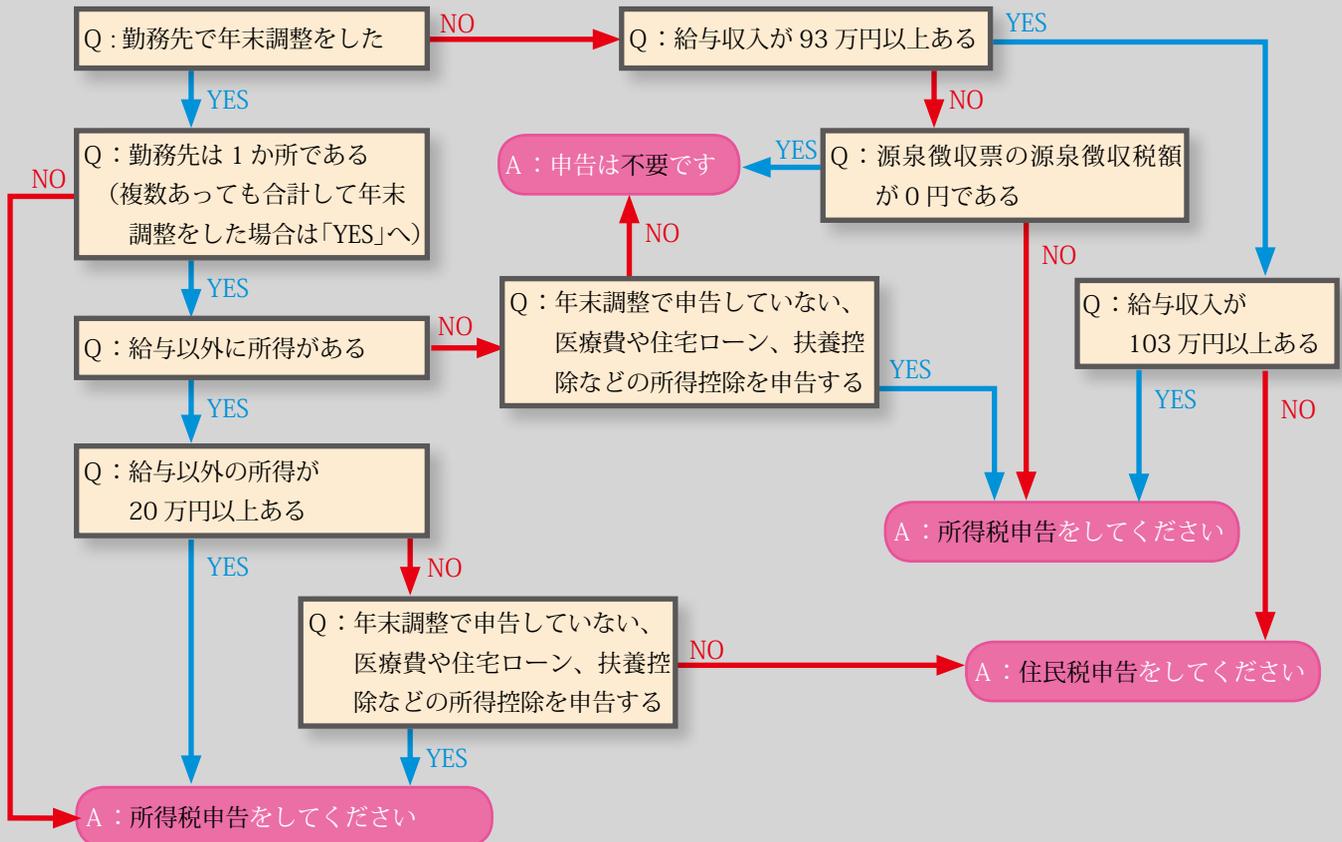
申告が必要なのはどんな人

「わたしは確定申告の必要がない」など思わないでください。税の申告をする必要がある人は意外にも多くいます。あなたがどの申告をする必要があるかは、あなたの収入の種類によって次のフローチャートを参考に確認してください。ただし、場合によっては申告方法が変わることもありますのでご了承ください。

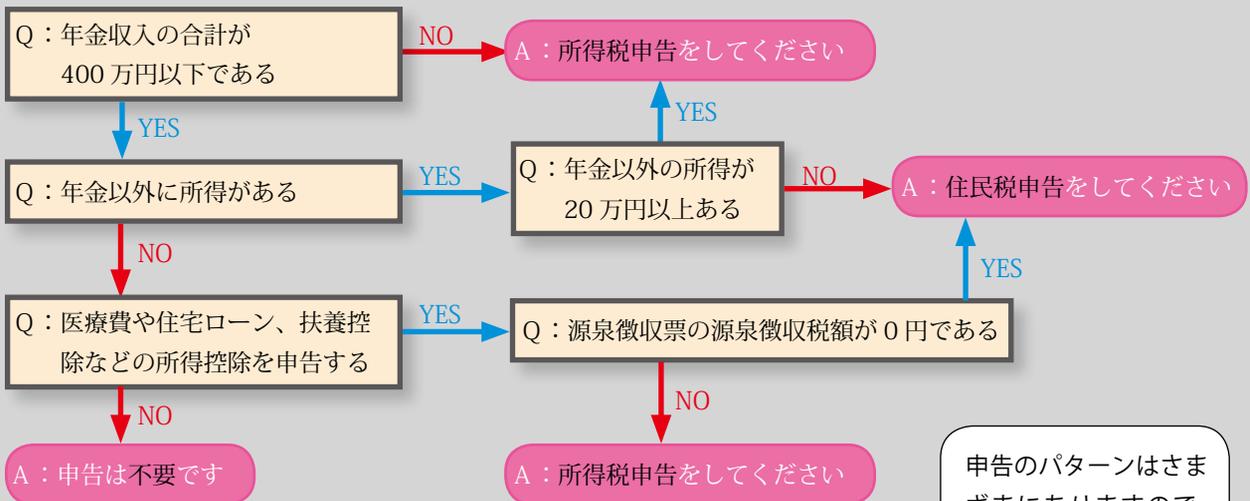
■パターン1 (収入の無い人)



■パターン2（主に給与収入の人）

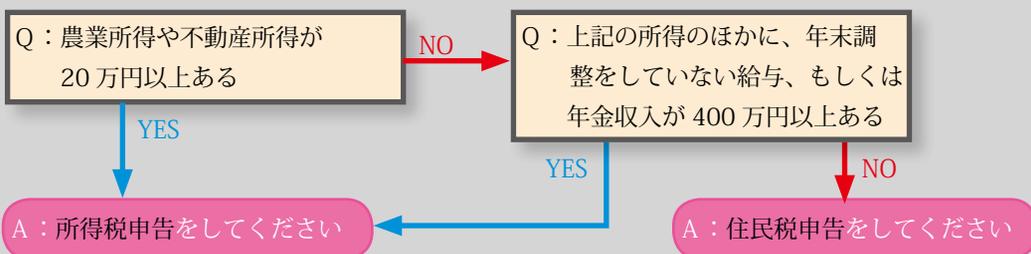


■パターン3（主に年金収入の人）



申告のパターンはさまざまにありますので、右記の申告相談日にお気軽に相談ください。

■パターン4（農業所得や不動産所得などのある人）



住民税担当
竹中正鋭 主事
(税務住民課)

住民税の申告相談日

申告相談会では、住民税の申告のほかに、給与所得者の還付申告など簡易な所得税申告に限り受け付けていますので、必要な方は以下の相談日に会場へお越しください。

三方会場：役場三方庁舎 2階第1会議室
受付時間：9:00～11:30、13:00～16:30

上中会場：役場上中庁舎 2階第1会議室
受付時間：9:00～11:30、13:00～16:30

月日	対象集落
2/18(月)	倉見、白屋、成願寺、上野
2/19(火)	能登野、横渡、井崎
2/22(金)	高岸、三十三団地、岩屋、田上、東黒田 税理士指導日
2/25(月)	相田、藤井、南前川 税理士指導日
2/28(木)	佐古、田名、向笠、三方
3/1(金)	北前川、鳥浜
3/6(水)	館川、気山、上瀬
3/7(木)	成出、田井野、梅ヶ原、田立、別庄、世久津、伊良積、北庄
3/12(火)	9:00～11:30 [西田公民館] 海山、世久見、食見、塩坂越
	13:00～16:30 [若狭三方漁協本所] 遊子、小川、神子、常神
3/13(水)	予備日
3/15(金)	予備日

月日	対象集落
2/20(水)	大鳥羽、上黒田、麻生野、海士坂、三生野、無悪
2/21(木)	三田、小原、南、山内、持田、長江、朝霧
2/26(火)	末野、安賀里、下夕中、有田、下吉田 税理士指導日
2/27(水)	上吉田、脇袋、瓜生、関、若葉、サン・コーポラス瓜生 税理士指導日
3/4(月)	グリーンハイツ、熊川、新道、河内、せせらぎ
3/5(火)	仮屋、若王子、三宅、市場、井ノ口
3/8(金)	天徳寺、神谷、日笠、あじさい団地
3/11(月)	杉山、堤、兼田、武生、玉置、上野木、中野木、下野木
3/14(木)	予備日

税理士指導日 …税理士が確定申告のお手伝いをします。e-Taxの利用方法や、新規住宅取得控除、株式の譲渡所得などがある方は、集落日程表に関わらず税理士指導日をご利用ください。

申告に必要なもの

- 印鑑
- 給与所得者は「給与所得の源泉徴収票」
- 公的年金受給者は「公的年金等の源泉徴収票」
- 生命保険料や地震保険料などの支払金額証明書（年末調整での源泉徴収票記載分は不要）
- 国民年金保険料、国民年金基金の支払証明書（控除証明書）
- 国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料の支払い金額が分かるもの（若狭町以外で加入支払した場合）

申告へ出かける前にチェック

- 医療費控除を受ける場合は、平成24年中に支払った医療費の領収書、保険などで補填された金額がわかるもの（領収書は病院や個人ごとに集計し、あらかじめ「医療費の明細書」の作成が必要）
- 収支内訳書（農業や営業などで収入がある人は、あらかじめ「収支内訳書」の作成が必要）
- 所得税還付申告をする場合は、申告者名義の還付先口座が分かるもの
- 障害者手帳、療育手帳など
- その他（申告内容により必要なもの）

以下に該当する方で確定申告をされる場合は、敦賀税務署で直接申告をお願いします。

※営業所得や株式などの譲渡所得、連帯債務のある住宅借入金特別控除、損益通算、繰越控除、青色申告の確定申告をされる場合、町の税務窓口では受付することができませんので、敦賀税務署での申告をお願いします。

■敦賀税務署：敦賀市鉄輪町1丁目7番3号 敦賀駅前合同庁舎
 TEL 0770-22-1010（音声ガイダンスが流れます）

●問い合わせ
 税務住民課 TEL 45-9101

まちな話

※広報紙に「あなた」の写真が写って
いましたらご連絡ください。
写真をさしあげます。
(総務課 TEL45-9109)



▲賞状を手にする前上取締役（写真下段中央）



大賞を受賞しました (12/5)

かみなか農楽舎が、第10回グリーンツーリズム大賞を受賞し、東京都千代田区にある毎日ホールにおいて表彰式が行われました。

この賞は、田舎への観光や農業体験などを楽しむグリーンツーリズムに関して、先進的な取り組みなどを行っている団体に贈られるものです。

かみなか農楽舎は、町内外から年間約3,000人も受け入れをしているほか、同舎を卒業した研修生が多く若狭町に定住していることなどが評価されました。



年末年始の安全と安心 (12/7)

年末特別警戒出動式が、三方B & G海洋センターで行われ、若狭町防犯隊や安心安全まちづくり推進会議のメンバーら約60人が出席しました。

特別警戒は、年末年始にかけて犯罪が多発することが予想されることから、犯罪を未然に防ぐことを目的に、期間中は警察や防犯隊などがパトロールを強化しています。

出動式では、若狭町防犯隊の田邊秀昭隊長が「住民に安心・安全な生活を送ってもらえるようにしっかりと巡回して欲しい」と呼びかけました。

その後、警察署員から護身術を習い、もしもの場合に備えて隊員は真剣な表情で指導を受けていました。



▲護身術の見本を見せる警察署員



地元食材は美味しいぞ (12/8)

伝統野菜の山内かぶらを使った料理講習会が鳥羽小学校で行われ、鳥羽地区の住民ら約20人が参加しました。

この講習会は、伝統野菜の山内かぶらを通じて、地元食材の魅力に関心を持ってもらおうと、鳥羽公民館と町が実施したものです。

講習会には、小浜市の青池調理師専門学校から松坂隆寛さんを講師に迎え、山内かぶらの香りや食感を活かした料理5品を作りました。

その後参加者は、自分たちで作った料理を一つひとつ味わい、伝統野菜や地元食材の良さを再確認していました。



▲松坂講師から指導を受ける参加者



無音の世界に見える世界 (12/10)



▲賞状を手にする西野さん（写真右から2人目）

第32回全国中学生人権作文コンテスト県大会において上中中学校の西野弘二さんが最優秀賞のひとつ福井県人権擁護委員連合会長賞を受賞し、その入賞報告で若狭町役場を訪れました。

コンテストには、県内60校から4,229点の応募があり、うち最優秀賞の2点など25点が入賞作品として選ばれています。

西野さんの作文は、耳が聞こえない自身の体験を紹介しながら、まわりの人たちが支えてくれたことで障害という壁を乗り越えることができ、この無音の世界でも自分は楽しく生きていると訴えたものです。

西野さんは、「障害について関心をもって欲しい」と話していました。



声かけたその勇気こそ宝物 (12/12)

若狭地区の中学校を対象として非行防止標語コンクールが行われ、入賞者への表彰式が小浜警察署で行われました。

このコンクールは、小浜警察署と若狭地区少年警察協助力員が少年の非行防止や健全育成活動の一環として募集したものです。

作品は7校から1,012点の応募があり、うち最優秀賞が1点、優秀賞が10点選ばれました。

最優秀賞作品

「声かけた その勇気こそ 宝物」
鋸屋 まこ（小浜第二中学校）

優秀賞作品

「薬物は 君の存在 消える元」
石倉 嵯巴羅（上中中学校）ほか9点
（※敬称省略）



▲賞状を手にする入賞者



わたしのまちづくりプラン (12/14)

環境学習発表会が三方中学校で行われました。

この発表会は、同校3年生の生徒が3年間取り組んできた環境学習の成果を「わたしのまちづくりプラン」としてまとめ、それぞれがテーマを設けて意見を発表したものです。

発表会では、生徒6人が代表して発表し、3年間環境学習の指導にあたった慶應義塾大学や東京大学の研究者や同校の生徒など約90人が意見に耳を傾けました。

生徒からは、若狭町における自然環境の現状や課題などが報告され、自然再生への取り組みやゴミのリサイクル施策など個性のあるプランが提案されました。



▲発表後に研究者から講評を受ける生徒



熊川葛製造を体験 (12/15 & 12/22)



▲作業をする生徒と振興会のメンバー

若狭東高校の生徒が、若狭町の特産品である熊川葛の製造を体験しました。

この体験は、生徒らに地域の食文化継承に関心を持ってもらうために実施したもので、同校生活科学科の生徒5人が製造方法を体験しました。

体験は、熊川葛振興会の指導の下2日間行われ、15日は葛根を粉碎し、手でしぼる作業を行い、22日には沈殿した葛粉を濾す作業を行いました。

2日間とも寒い日となりましたが、生徒は濾していくごとに白くなる熊川葛に感心していました。

体験した生徒の中本なつきさんは「濾したりする作業は大変。葛粉の値が高い理由が分かった」と話していました。



ぼくたちからのプレゼント (12/18)

三方小学校の児童が、自分たちで育てた無農薬米を使ってぼた餅を作り、校区内の一人暮らしのお年寄りに配りました。

同校では、町と連携して児童が無農薬で「ゆりかご米」を育て、秋に収穫しました。

この日、中央公民館で3年生の児童24人が民生児童委員と一緒に作り、地区ごとにグループに分かれてお年寄り宅を訪れました。

お年寄り宅を訪れると、児童が「自分たちで作ったお米で作りました。風邪をひかないようにしてください」などと書かれた手紙と一緒に、お年寄りへぼた餅とゆりかご米を手渡しました。

受け取った小堀和歌子さんは、「心づくしの品で嬉しい。期待して食べたい」と喜んでいました。



◀ぼた餅をパックに詰める児童

▶ぼた餅を受け取り喜ぶお年寄り



防犯サンタがやって来た (12/20)

防犯を呼びかける防犯サンタが、わかば保育園を訪れました。

防犯サンタは、防犯組合若狭地区連合会上中支部が行っているもので、上中地域の保育園を毎年順番に回っています。

園児たちが歌うクリスマスソングに合わせて防犯サンタが会場に登場しました。

まず、窪田伸広組合長が「交通事故に気をつける」、「知らない人にはついていかない」などを園児に呼びかけて、その後、防犯サンタが用意したプレゼントを園児一人ひとりに手渡しました。

プレゼントを受け取った園児は、「ありがとう」と元気にお礼を述べていました。



▲サンタさんからのプレゼントを受け取る園児



▲元気に餅をつく親子



みんなでお餅をペッタン (12/23)

大鳥羽区で餅つき交流会が行われました。この餅つきは、中学生までのお子さんを持つ親で組織する大鳥羽の自主学級グループ「若鮎グループ」が世代を超えた交流を目的に開いたもので、メンバーの親子や祖父母の約20人が大鳥羽会館に集まりました。

参加者らは、秋に自分たちで収穫したもち米を臼に入れ、「ヨイショ、ヨイショ」のかけ声とともに餅をつきました。

つきあがった餅は、自分たちで丸めて、きなこやあんこなどを付けて、その場で味わいました。

参加した小学2年生の森下嘉一くんは、「こうして作ったお餅はおいしい」と満足そうな表情で味わっていました。



安全協定を見直し締結 (12/25)

若狭町をはじめ小浜市や南越前町、越前町の4市町が、関西電力など電力3事業者と原子力発電所にかかる安全協定を締結しました。

この協定は、東京電力福島第1原子力発電所の事故を受けて、準立地市町として電力事業者に見直しを求めているものです。

調印式には、4市町の首長が出席し、県や立地市町の担当者が立会う中で、それぞれの電力事業者との協定書に調印しました。

森下町長は、「住民の安全・安心に直結する電力事業者からの連絡・通報体制の整備など重要な部分を追加できた。事業者は原子力発電所の運転にあたり安全を最優先で取り組んで欲しい」と電力事業者へ強く要望しました。



▲協定書に調印する4市町の首長

表紙の話題→



▲丁寧に筆を執る児童ら



字が上達しますように (1/4)

新春書き初め大会が西田公民館で行われました。この取り組みは、冬休みの課題のひとつである習字を応援しようと毎年開いているもので、西田地区に住む児童が、それぞれの課題となっているお手本を持って参加しました。

講師には、町内で書道教室を営む松村勉さん（鳥浜）が務め、児童一人ひとりに声をかけながら指導していました。

児童は、字が上達するようにと今年の恵方である南南東に机を向けて、「平和」や「元気」、「山里」などと書かれたお手本を見ながら丁寧に筆を執っていました。



むかしの学校を紹介 (1/6 ~ 3/31)



◀ 展示物を眺める
来場者

▶ 展示されている
貴重な資料



若狭町歴史文化館で企画展「むかしの学校～なつかしい学校資料いろいろ～」が開かれました。

展示室の内外には、明治初期から昭和30年代までの学校で使われていた教科書など貴重な学校用品が約120点展示されています。

展示された学校資料を眺めると、それぞれが当時の時代背景を色濃く映し出しており、当時の様子や現代との違いをうかがうことができます。

また、会場には展示物の詳しい内容が書かれた資料も用意されており、展示物と資料を照らし合わせながら眺めるとより楽しめるそうです。

企画展は3月31日まで開かれています。



新春恒例の出初式 (1/6 & 1/12)

町内消防団による新春恒例の出初式が行われました。

三方消防団の出初式には、消防団員や三方消防署職員、女性消防活動班の約150人が参加し、鳥浜貝塚公園で一斉放水をした後、三方庁舎前を分列行進しました。

敦賀美方消防組合の副管理者を務める森下町長からは、「おだやかな1年を過ごせたのは、日頃の防災活動のおかげ、今後も危機意識をもって町民の安心、安全に努めて欲しい」と訓示が述べられました。

また、12日には上中消防団の出初式も行われ、消防団員や若狭消防署上中分署職員約150人が参加し、パレア若狭で一斉放水や観閲をして、その後、付近を若狭消防音楽隊とともにパレードしました。

参加したそれぞれの団員らは、真剣な表情で式に臨み、防災への決意を新たにしていました。



▲ 指揮に従って放水を行う三方消防団員



▲ 三方消防団による分列行進



▲ 一斉放水を行う上中消防団員



▲ 観閲を受ける上中消防団員



▲ パレードで演奏する
若狭消防音楽隊の隊員



すまいる

子育て・介護・健康・食育

●問い合わせ 健康課 TEL 62-2721

すまいる

あなたが今後 10 年間で大腸がんを発症する確率は？

大腸がんは、日本人の臓器別死亡原因の中でも上位に位置し、40 歳から年を重ねるにつれて発症する確率が高くなります。また、早期の大腸がんの場合、自覚症状がほとんど無いのが特徴です。

しかし、大腸がんが治りにくい病気かというところではありません。大腸がんは、早期に見れば高い確率で、完全に治すことができる病気です。

■スコアシートによる大腸がん発症確率の算出

参照：男性が 10 年間で大腸がんを発生する確率について多目的コホート研究 (JPHC Study) より

①年齢

年齢	点数
40～44 歳	0
45～49 歳	+1
50～54 歳	+3
55～59 歳	+4
60～64 歳	+5
65 歳以上	+6

②BMI 数値

数値	点数
25 未満	0
25 以上	+1

※ BMI 数値 = 体重 (kg) ÷ (身長 (m) × 身長 (m))

③喫煙習慣

喫煙の有無	点数
吸わない	0
過去に吸っていた	0
吸っている	+1

④身体活動数値

身体活動の量	点数
起きている時も動かないことが多い	0
一般的な日常生活をしている	-1
運動などで常に体を動かしている	-3

⑤飲酒習慣

飲酒量	点数
全く飲まない	0
月に 1～3 回の飲酒	0
エタノール量が週 300g 未満	+1
エタノール量が週 300g 以上	+2

★それぞれの点数を合計すると？

危険因子	点数
①年齢	
②BMI 数値	
③喫煙習慣	
④身体活動数値	
⑤飲酒習慣	
合計	



●エタノール量の参考値

アルコールの種類	目安値
日本酒 (1 合)	23g
ビール (大瓶 1 本)	23g
ウイスキー (シングル 1 杯)	10g
ワイン (グラス 1 杯)	6g
焼酎・泡盛 (ロック 1 合)	36g

★あなたが今後 10 年間で大腸がんを発症する確率

点数合計	確率	点数合計	確率
-1 点	0.2%	5 点	1.8%
0 点	0.3%	6 点	2.4%
1 点	0.5%	7 点	3.3%
2 点	0.7%	8 点	4.6%
3 点	0.9%	9 点	5.9%
4 点	1.3%	10 点	7.4%

がんという病気は、年を重ねるだけでリスクが高くなります。年に 1 度は検診を受け、自分の体をチェックしましょう。

また、大腸がん検診は自覚症状がない方に対して有効な検診です。血便などの症状がある方は、すぐに医療機関で診てもらいましょう。

※今年度最後の大腸がん検診の申し込みは 2 月 8 日 (金) まで健康課で受け付けています。
お済みでない方は、ぜひこの機会に受診しましょう。

きずな

絆

～対話と実行～

若狭町長 森下 裕

「大きな絆を实らせる年に」

新年、明けましておめでとうございます。

皆様には、輝かしい新年を健やかに迎えることと、心からお慶び申し上げます。

平成25年のはじめにあたり、一言、ご挨拶を申し上げます。

さて、昨年1年間を振り返りますと、春に開所した子ども・若者サポートセンターをはじめ、嶺南有害鳥獣処理施設や若狭消防署上中分署庁舎など、以前から望まれていた施設の完成を見ることができました。

そして、わたし自身の嬉しい出来事のひとつとして、非常に多くの人と対話する機会を皆さんからいただくことができました。わたしは、その対話を通じて、人と人とのつ

ながりの大切さを実感し、「絆」の尊さに気づかされた1年であったと感じております。

若狭町が誕生して8年が経ちます。自然と歴史文化、人々が共生する中で、若狭町として新たな発展を図るために、「次世代の定住促進」と「住民自治の推進」を柱とした、「若狭町まちづくりプラン」に基づき、まちづくりを進めさせていただいております。

新しい時代を拓き、町のさらなる融和と、安心して活力あるまちづくりのため、次代を担う若者が活躍し、みんなで創り上げ、育む喜びが感じられる「みんなで創る、みんなのまち」の実現に向け、町としても全力で取り組んでいきたいと、私自身強い使命感に

駆り立てられています。

依然として経済情勢や雇用環境は厳しく、人口減少や高齢化など地域における課題も山積してありますが、住民の皆さんとともに対話を重ね、将来にわたって健康で、また安心して暮らせるまちの実現に向けて歩みを進めたいと考えています

巳年は、蒔いておいた種が実を結ぶ年といわれております。

皆様方個々の努力が、豊かで大きな実を結ぶ年となりますことを祈念申し上げますとともに、ここに、皆様方のますますのご繁栄とご健勝を心からお祈りし、年頭のご挨拶といたします。

広報クイズ

しりとり
うずまき
クイズ



携帯でアクセス
メールでも応募してネ

■応募方法■

キーワードを解いて、しりとりをしながら右回りにことばを入れてください。5つあるピンクのマスピンクのマスクの文字をアルファベット順に並びかえると、答えになります。ハガキに答えと広報紙の感想や意見、住所、氏名を書いて、「〒919-1393 若狭町総務課」(住所は省略可)まで送ってください。電子メールでも受け付けます(somu@town.fukui-wakasa.lg.jp)。正解者の中から抽選で5人に図書カードをプレゼントします。当選の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

締切 2月15日(金) 必着。

◇キーワード◇

- ①今年2月18日から3月15日までの期間には何が行われる? 「確定〇〇〇〇」
- ②料理を英語で言うとは?
- ③平成30年に開催される福井国体で、若狭町で行われる公開競技は、ゲートボールともうひとつは何?
- ④昨年のロンドン五輪で越前市出身の中野希望さんが出場した競技は?
- ⑤昨年12月にかみなか農楽舎が受賞した賞です。(ヒント:6ページ)
「第10回〇〇〇〇〇〇〇〇〇大賞」

- ⑥人が住んでいない島のこと
- ⑦スコッチやバーボンなど穀物を原料としたもので、蒸留して樽で熟成させたお酒のこと

【ヒント】

15歳にあたる中学生2年生が大人としての志を立てます

《答え》 〇〇〇〇〇

① D			②	B	
⑤					
	⑦				③
C			E	A	
			⑥		
	④				

●前回の答え「タタミ」 ①かたけ ②ケイタイ ③カ ④ワル ⑤スガ ⑥ワラミサ ⑦ネ ⑧初 ⑨ティブ ⑩ブ ⑪ウツウ ⑫ウ ⑬ウツウ

HAPPY BIRTHDAY

3歳です

このコーナーでは、2月に3歳を迎える町内にお住まいのお子さまに登場していただいています。なお、ご応募いただいた方のみ掲載しています。今回は平成22年2月生まれの3歳になるお子さまです。

Goblins Out!
Fortune In!



田辺 真央ちゃん

2月27日生まれ（三方）

親：文宏・由紀子さん

いつも男の子とまちがえられるけど女の子です♡

次回は平成22年3月生まれのお子さまが対象です。写真と25字以内のコメント、生年月日、ご両親のお名前、連絡先を添えて総務課または上中サービス室へ提出してください（メールでの送付可）。

2月5日（火）必着です。

●問い合わせ 総務課 TEL 45-9109
電子メール
soumu@town.fukui-wakasa.lg.jp
（受信確認のため、必ずお電話ください）

絆・クイズ
3歳・ニギハ

文芸ひろば

冠句
若狭町冠句の友
嶺粧う花も萩も色添えて
若人よ悩むな悠々大地踏め
江戸須磨子（横渡）
河村 嶽童（相田）

川柳
ほっと川柳
捨てられぬ七つの癖と生きている
いやなくせ捨てるともつといい男
いたずらが終わるまで待つ親心
秋野菜終えて次の作を練る
井口 善弘（田井野）
今川てる子（鳥浜）
松見テル子（玉置）
田中 文子（堤）

短歌
かそり歌会
寒空に山茶花あまた蕾つけ
一輪二輪ほころびて来ぬ
雪吊りを施す暇なきこのわれに
雪に埋もるる庭木切なし
須磨 悌（気山）
上中短歌会
台風の気圧に悩むりウマチの
疼く終日耐えて過ぎしぬ
里の庭に草刈りおれば幼日の
ままに石あり腰掛けてみる
岡本 久恵（三宅）
吉田恵美子（脇袋）

俳句
源流・つくし俳句会
十三夜土蔵の家紋浮き彫りに
娘と唄ふ昭和演歌や星月夜
やよい俳句会
寝静まり寒満月の光満つ
岩礁へ怒濤の一撃浪の華
田中 喜良（神谷）
中村 一美（若王子）
松宮 紅雲（大鳥羽）
原田 自然（大鳥羽）